

秋田市の発電事業者

市基金に57万円寄付

桜の管理に活用

秋田市向浜で木質バイオマス発電所を運営するユナイテッドリニューアブルエナジー（平野久貴社長）は26日、千秋公園の桜の保存や植え替えに活用する「さくらファンド」に57万2千円を寄付した。

千秋公園二の丸跡で行われた贈呈式で平野社長は写真右が穂積志市長に目録を手渡

した。穂積市長は「樹勢の衰えも顕著なので、木の植え替えを進めたい。多くの人が訪れる観光スポットとなるよう整備に努める」とあいさつした。

平野社長は「県民の憩いの場として、愛されるような公



園造りに役立ててほしい」と話した。同社がさくらファンドに寄付するのは昨年に続き2回目。発電所の見学料全額を充てた。

寄付金の一部は、今年3月に改定された「千秋公園再整備基本計画」に基づき、桜の植樹費用（10本分）に使われる。ファンドは2009年3月創設。市公園課が管理している。26日までに寄付は232件、979万7117円寄せられている。（間杉大旗）